

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭基礎	単位数	2 単位
学 科	農業科（食農科学科）	学 年	1 年
教科書	Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう(大修館書籍)	副教材	なし

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを旨とする。
------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の取組状況 ・ 課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 生活のマネジメント 第2章 青年期の課題と自立 第3章 家族・家庭生活のマネジメント 第5章 高齢期の生活のマネジメント 第8章 経済生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人は一生にわたって発達し、青年期は発達途中である。これからの1つひとつの意思決定によって、人生がつくられることを理解する。 ・ 青年期の発達課題を理解し、自立に向けて高校生の今、何をすべきかを考える。 ・ 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。家族・家庭のよりよい生活のために、課題解決に向けて取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭生活の充実向上を考える。 ・ 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。また、生活支援に関する基礎的な技能の身に付ける。 ・ 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計生活について理解する。また、消費生活の権利や責任を自覚して行動できるように消費生活の現状と課題、消費生活における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理する。
2 学 期	第10章 衣生活のマネジメント 第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント 第6章 共生社会をつくる 第7章 持続可能な社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージや目的に応じた被服と機能、着装、被服材料、被服衛生について理解する。また、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理する。及び被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・ 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。また、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 ・ 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 ・ 生活と環境との関わりや持続可能な消費とともに、持続可能な社会へ参画ことへの意義を理解する。
3 学 期	第9章 食生活のマネジメント 第11章 住生活のマネジメント 最終章 生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージに応じた栄養素の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解する。また、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 ・ ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。また、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・ 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして、課題を解決する力を身に付ける。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭基礎	単位数	2 単位
学 科	農業科（環境工学科）	学 年	1 年
教科書	Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう(大修館書籍)	副教材	なし

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通りに育成することを目指す。
------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の取組状況 ・ 課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 生活のマネジメント 第2章 青年期の課題と自立 第3章 家族・家庭生活のマネジメント 第5章 高齢期の生活のマネジメント 第8章 経済生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人は一生にわたって発達し、青年期は発達途中である。これからの1つひとつの意思決定によって、人生がつくられることを理解する。 ・ 青年期の発達課題を理解し、自立に向けて高校生の今、何をすべきかを考える。 ・ 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。家族・家庭のよりよい生活のために、課題解決に向けて取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭生活の充実向上を考える。 ・ 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。また、生活支援に関する基礎的な技能の身に付ける。 ・ 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計生活について理解する。また、消費生活の権利や責任を自覚して行動できるように消費生活の現状と課題、消費生活における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理する。
2 学 期	第10章 衣生活のマネジメント 第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント 第6章 共生社会をつくる 第7章 持続可能な社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージや目的に応じた被服と機能、着装、被服材料、被服衛生について理解する。また、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理する。及び被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・ 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。また、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 ・ 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 ・ 生活と環境との関わりや持続可能な消費とともに、持続可能な社会へ参画ことへの意義を理解する。
3 学 期	第9章 食生活のマネジメント 第11章 住生活のマネジメント 最終章 生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージに応じた栄養素の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解する。また、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 ・ ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。また、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・ 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして、課題を解決する力を身に付ける。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	フードデザイン	単位数	3単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)	学 年	2年
教科書	フードデザイン (実教出版)	副教材	新食品成分表FOODS2021 (とうほう) 家庭科ノート専門編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)

学習 目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的、協働的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート 実習
思考・判断・表現	食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的、創造的に解決する力を身に付けている。	ワークシート 発表
技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関連する技能を身に付けている。	実習 食物調理技術検定
知識・理解	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解している。	定期考査 食物調理技術検定

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	1章 食生活と健康 食物調理技術検定2級の実施	食習慣、栄養状態、食料事情、食の安全、環境との関わりなどの視点で我が国の食生活の現状について把握し、課題意識をもつ。 食品の栄養的特徴を理解し、課題に応じた日常食の献立作成と調理ができる。
2 学 期	2章 栄養素のはたらきと食事計画 食物調理技術検定1級の実施	各種栄養素の特徴と体内でのはたらき、代謝について理解する。 高度な技術が調理に応用でき、課題に応じた、供応食・行事食等の献立作成と調理ができる。
3 学 期	2章 栄養素のはたらきと食事計画	各種栄養素の体内での消化・吸収の過程を理解する。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	ファッション造形基礎	単位数	3単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)	学 年	2年
教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)	副教材	なし

学習目標	被服材料の種類や特徴について理解するとともに、被服の構成を理解し、被服製作の基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ファッション造形の基礎的な能力と態度を身に付ける。
------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	衣服の構成・材料・製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト ・提出作品
思考・判断・表現	被服製作やデザインに関する課題を見つけ、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・提出物 ・授業・実習への参加態度 等
主体的に学習に取り組む態度	計画に従って能率的に衣服の製作を行うことができる技術を身に付けている。	・授業・実習への参加態度 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 人体と衣服	<ul style="list-style-type: none"> ・人体と衣服の関係や衣服の基本的な構成に関心を持ち、それらについての基本的な知識を習得する。 ・衣服の製作や洗濯に必要な、人体各部位の計測方法を習得する。 ・立体構成と平面構成の違いとその特徴について理解する。
	第3章 洋服の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の製作に必要な、平面製図の基礎的な技法を習得する。 ・布地の裁断法、仮縫い・補正、縫製、仕上げなどに関し、基礎的な知識と技術を身に付ける。 ・被服製作技術検定3級の実施を通して、能率的に製作を行うことができる能力を身に付ける。
2 学 期	第4章 和服の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の種類と特徴、構成と各部の名称、縫製、仕上げ、たたみ方などに関し、基本的な知識を習得する。 ・平面構成の衣服についての理解を深め、基礎的な知識・技術を身に付ける。 ・被服製作技術検定2級（和服）の実施を通して、能率的に製作を行うことができる能力を身に付ける。
	第2章 衣服の素材	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の材料について、その種類や特徴についての知識を習得する。 ・繊維に関する実験や実習を通して、その特徴を理解し、適切に取り扱う力を身に付ける。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

<様式1>

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	生活と福祉	単位数	2単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	2年
教科書	生活と福祉（実教出版）	副教材	なし

学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技術	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実習
思考・判断・表現	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・課題等の提出
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業態度 ・授業中の発言 ・課題等の提出

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	1章 人の一生と生活・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会における健康とQOLについて理解し、生涯を通じた健康づくりについて各ライフステージの特徴を理解する。
	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の特徴と病気について理解する。高齢者の生活課題としての対応について理解する。
2 学期	3章 高齢者の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立支援の基本の考え方について理解し、家族への支援や介護でのコミュニケーションについて関心をもつことができる。
3 学期	4章 高齢者支援の法律と制度	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉のあゆみと介護保険制度のしくみを理解する。地域包括ケアシステムによる高齢者支援を理解する。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

<様式1>

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	保育基礎	単位数	2単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	2年
教科書	保育基礎	副教材	

学習 目標	保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付け、保育や子育て支援に関する資質や能力を養う。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技術	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	・定期考査 ・小テスト 等
思考・判断・表現	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で、課題を見つけその解決を目指して試行を深めることができる。	・提出物 ・授業・実習への参加態度 等
主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組む、実践的な態度を身につけている。	・授業・実習への参加態度 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	1章 子どもの保育 1節 保育の意義 1 保育とは 2 保育の意義 2節 保育の方法 1 保育者の役割とは 保育実技検定4級の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義と重要性について幼稚園教育要領などを取り上げながら、保育が人間形成にどのようにかかわるかを考える。 ・保育に関する基礎的・基本的な知識や技術を身につける。
2 学 期	2 一人ひとりに合わせた指導 3節 保育の環境 1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題 2章 子どもの発達 1節 子どもの発達の特徴 1 発達と保育 2 発達の共通性と個別性 保育技術検定3級の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者にはどのような資質が求められるか、またそれをどのように身につければよいかなど保育者観についての考察を深める。 ・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場の保育環境の特徴や役割を理解する。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、適切な保育環境について考察する。 ・保育に関する基礎的・基本的な知識や技術を身につける
3 学 期	2節 子どものからだの発達 1 発育・発達の評価 2 身体的特徴 3 生理的特徴 3節 子どもの心の発達 1 社会・情緒的な発達 2 知的発達 3 言葉の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、人の発達の過程を理解する。 ・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係の広がりについて考える。 ・知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から子どもの心の発達をとらえる。

その他	・ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動
-----	----------------------

農業

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	総合実習	単位数	3単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	2年
教科書	なし	副教材	なし

学習 目標	<p>農業全般に関する体験的な学習で、農業の興味・関心を深める。 栽培に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得、農産物の特性と加工原理について理解し、生産から加工・販売までの過程を実践に必要な態度と能力を身に付ける。 食・農の学習を深め、食・農分野で活躍できる産業人の育成と、自然に親しみ、勤労を尊び、地域を愛する心情を身に付ける。</p>
----------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技術	<p>野菜・草花栽培及びフラワーデザインについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 学校農業クラブ活動について理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・実習への取組状況 ・課題提出 等
思考・判断・表現	<p>野菜・草花栽培及びフラワーデザインに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・研究発表 等
主体的に学習に取り組む態度	<p>野菜・草花栽培及びフラワーデザインについて基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・実習への取組状況 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	<p>1 オリエンテーション 「総合実習」学習の意義や内容、学習や評価の方法を理解する。 農業クラブ活動内容を理解する。</p> <p>2 実習部門 野菜（トマト、ダイコン） (1) 播種 (2) 定植 (3) 除草 (4) 追肥 (5) 収穫</p> <p>草花（カーネーション、シクラメン）の栽培 (1) 播種 (2) 施肥・消毒 (3) 出荷</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の栽培や食品の製造に興味・関心を持たせる。 ・作物の特性や管理の実習に対して、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容を理解し、取り組む意欲と態度を身に付ける。
2 学期	<p>フラワーデザイン アレンジメント作成 (1) 施肥 (2) 受粉 (3) 除草 (4) 収穫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・作物栽培の生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できるようになる。
3 学期		

その他	<p>座学と実験・実習を行う。実技的科目である。実習内容は毎時間記録し、評価を受ける。その際、服装・意欲・作業効率・記録方法等について自己評価も実施する。</p>
-----	---

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	ファッション造形基礎	単位数	3単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	3年
教科書	ファッション造形基礎（実教出版）	副教材	なし

学習 目標	被服材料の種類や特徴について理解するとともに、被服の構成を理解し、被服製作の基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	衣服の構成・材料・製作に関心を持ち、衣生活の充実・向上に意欲的に取り組む態度を身に付けている。	・ワークシート
思考・判断・表現	被服製作やデザインに関する課題を見つけ、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・ワークシート
技能	計画に従って能率的に衣服の製作を行うことができる技術を身に付けている。	・被服製作技術検定 ・被服製作実習
知識・理解	衣服の構成・材料・製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身に付けている。	・定期考査

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第4章 和服の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な和服の意義についての理解を深める。 ・和服の種類と特徴、構成と各部の名称、縫製、仕上げ、たたみ方などに関し、基本的な知識を習得する。 ・平面構成の衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を身に付ける。 ・和服独自の伝統的な用語、縫製に関する用具の知識や技法を習得する。 ・被服製作技術検定1級（和服）の実施を通して、能率的に製作を行うことができる能力を身に付ける。
2 学 期		
3 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・着装のマナーや和服の種類と用途を学び、着つけに必要な手順を習得する。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	フードデザイン	単位数	2単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)	学 年	3年
教科書	フードデザイン (実教出版)	副教材	新食品成分表FOODS2020 (とうほう) 家庭科ノート専門編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)

学習 目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的、協働的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート 実習
思考・判断・表現	食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的、創造的に解決する力を身に付けている。	ワークシート 発表
技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関連する技能を身に付けている。	実習
知識・理解	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解している。	定期考査

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	2章 栄養素のはたらきと食事計画 6章 フードデザイン実習	栄養素の消化、吸収、排泄の仕組みを学習する。乳幼児期から高齢期までのライフステージごとの栄養の特徴、食生活上の留意事項、調理法の工夫などについて学習し、献立作成や調理に生かす。 テーマに応じた献立作成や調理ができるようにする。
2 学 期	5章 料理様式とテーブルコーディネート 2節 テーブルコーディネート 6章 フードデザイン実習	日本料理、西洋料理、中国料理のテーブルセッティングやサービスの基本的な考え方、方法を理解する。食事のテーマにふさわしいテーブルコーディネートや食卓の装飾について工夫できる。 テーマに応じた献立作成や調理ができるようにする。
3 学 期	7章 食育	食育を推進することの重要性を理解し、地域における食育の推進に関心をもつ。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	生活と福祉	単位数	2単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)	学 年	3年
教科書	生活と福祉(実教出版)	副教材	なし

学習 目標	高齢者の健康と福祉と生活、介護などに関する知識と技術を習得し、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を身に付ける。
----------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	高齢者の生活の質を高め、自立生活支援と福祉の充実について関心をもっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業態度 ・課題等の提出 ・ノート整理
思考・判断・表現	高齢者を取り巻く諸課題を主体的、合理的、かつ倫理観をもって解決しようと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の記録 ・課題等の提出 ・授業中の発言
技能	高齢者の健康と福祉、生活、介護などに関する基礎的・基本的な技術を習得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習
知識	高齢者の健康と福祉、生活、介護などに関する基礎的・基本的な知識を習得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	5章 介護・看護の実習と生活支援 2節 看護の実習	・家庭看護の基本的な考えを理解し、加齢に伴い身体的機能の低下によってなりやすいけがや病気の観察ポイントや予防、対処法を把握する。
2 学 期	1節 介護の実習	・高齢者の介護の基本的な原則を理解し、体位変換、移動の介助、食事・着脱・清潔・排泄の介護のポイントの理解を通して、高齢者への理解を深める。
3 学 期	3節 生活支援	・生活支援の考え方を理解し、衣・食・住の生活支援を考える。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	子どもの発達と保育	単位数	2単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)	学 年	3年
教科書	子どもの発達と保育 新訂版(実教出版)	副教材	なし

学習 目標	子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。	ワークシート
思考・判断・表現	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	ノート提出
技能	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	保育技術検定 保育実習
知識・理解	子どもの発達の特長、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。	定期考査

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	3章 子どもの生活 保育技術検定2級の実施 保育所訪問	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の生活に関心を持ち、乳幼児の生活の特徴から、健康を保持増進し、順調な成長を促すうえで、発育や発達に応じた養護が必要なことを理解する。 保育に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。
2 学 期	4章 子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> 保育の意味や人間形成にどのようにかわるかを考え、保育の意義や重要性に関心を持つ。
3 学 期	5章 子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> 児童憲章を通して子どもの幸せとは何かを考え、子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 子育て支援の意義と現状を理解し、今後の課題と展望を考える。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭総合	単位数	2単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)	学 年	1年
教科書	Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう(大修館)	副教材	調理実習ノート基礎編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会) カラーグラフ食品成分表2022 (実教出版)

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	食生活について、生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付けている。	・小テスト ・定期考査
思考・判断・表現	食生活について課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身に付けている。	・提出物 ・授業・実習への参加態度
主体的に学習に取り組む態度	食生活に関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	・授業・実習への参加態度 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第9章 食生活のマネジメント 1 体と心を満たす食事 2 イエローカードかも？ 3 日本の食文化” WASHOKU” 4 栄養バランスの良い食事 食物調理技術検定4級の実施	・食事のもつ意味を知り、現代の食生活の現状と問題点を理解し、健康的な食生活を送るための方法を考える。 ・食物調理に関する基礎的・基本的な技術や知識を身に付ける。
2 学 期	5 炭水化物を摂る 6 脂質を摂る 7 たんぱく質を摂る 8 無機質を摂る 9 ビタミンを摂る 10 豊かな食卓に 食物調理技術検定3級の実施	・5大栄養素の働きについて理解し、その摂り方について考える。 ・食物調理に関する基礎的・基本的な技術や知識を身に付ける。
3 学 期	11 食品のプロフィールを知る 12 食品を安全に取り扱う 13 持続可能な食生活	・日本や世界の食環境問題について広く考え、自分自身の問題としてとらえる姿勢を身に付ける。

その他	ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動。(4単位中2単位)
-----	-------------------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭総合	単位数	2単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)	学 年	1年
教科書	Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう	副教材	家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識と技能を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト 等
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて、問題点を見出して課題を設定し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けている。	・提出物 ・授業・実習への参加 態度 等
主体的に学習に取り組む態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	・授業・実習への参加 態度 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の考え方に立ち、各ライフステージごとの特徴と課題について考える。 ・青年期の自立について理解し、自立の達成のためにできることについて考える。 ・「家族」の定義を理解し、家族の機能や、家族・家庭に関する法律について考える。 ・高齢者の心身の特徴を知り、高齢者福祉の考え方を理解し、家族や地域が果たす役割について考える。
	第2章 青年期の課題と自立	
	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	
	第5章 高齢期の生活のマネジメント	
2 学 期	第10章 衣生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上について考える。 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身に付け、生命の尊さ、子育ての意義について考える。 ・人生におけるリスク管理の必要性を理解し、セーフティネットワークについて考える。
	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	
	第6章 共生社会をつくる	
3 学 期	第7章 持続可能な社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度について考える。 ・経済的自立について理解し、多様化・複雑化する消費生活の課題について考える。 ・現代の住まいや住生活の現状を知り、改善のための課題について考える。
	第8章 経済生活のマネジメント	
	第11章 住生活のマネジメント	

その他	ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動。(4単位中2単位)
-----	-------------------------------